

質問者



松本 一二美 議員

Q 妊産婦健診の無料化を!

A 国の方針に従っておこないます

一年前、2回から5回に無料受診を拡充しています。厚生労働省は、出産までに必要とされる14回の検査を無料にするため拡充する部分を国と市町村で2分の1ずつ負担する国庫補助事業として立ち上げる方針のようです。決まれば、町としても新しい制度の内容に沿って2分の1を負担し、妊婦の方が安心していただけるよう取り組んでいきます。里帰り出産に際しての検査費用援助については全国どこでも同じ援助が

問 子育て世帯へのさらなる負担軽減策が必要。妊婦健診について、厚生労働省が望ましいとする14回分の検査費用の完全無料化を要望するが考えは。

里帰り出産や、助産婦出産への適用はどうか。

答 (永田保健センター長)



何見てるの? かわいい~♡

受けられることが望ましいことから、機会をとらえ、国に対して要望していきます。助産院で出産を希望される妊婦の検査費用援助については、現在1助産院のみが適応の対象となっていますが、さらに現在申請中の助産院が1つあります。妊婦個々の要望にこたえていきます。

問 放課後対策の取り組みは

子どもが犠牲となる犯罪・凶悪事件が相次いで発生し、社会問題化している上、子どもを取り巻く家庭や地域の教育力の低下が指摘されている。そうした中で共働きの家庭の増加で小学生の放課後を過ごす場の確保は必需。

答 放課後児童クラブ開設時間を検討します (高橋福祉課長)

特に保護者が就業等の理由で昼間家庭にいない低学年児童には、長期休暇中も放課後児童クラブの通常利用時間の対応を要望するが考えは。施設の充実(新施設・空調設備)も要望する。

小学校や公民館に子供たちの安全で健やかな居場所を設け、地域の方々の参加によって子供たちが遊びを中心に学び、体験、交流のさまざまな活動を行う「放課後子ども教室事業」を今年10月から、各小学校において順次実施しています。保護者が仕事などで昼間家庭にいない、小学校1年生から3年生の児童を預かる「放課後児童クラブ」を実施しています。放課後児童クラブは、各校区に1カ所ずつ設置し、今年4月1日現在の入会児童数は松前小学校

で65人、北伊予小学校で31人、岡田小学校で58人となっています。長期期間中の放課後児童クラブの開設時間は、現在午前中のみですが、これを通常行っている最長6時まで行うと、預かり時間延長分の指導員の確保、昼食の弁当の保存、おやつや飲み物の提供1日の過ごし方の工夫など課題も多くあり、今後指導員や保護者の意見も聞きながら検討します。

松前小学校と北伊予小学校は空き教室を利用しており、空調設備はありません。長期休暇中、特に夏休みに児童を空き教室で1日預かることになれば、健康面などを考えると空調設備も必要ですから、併せて検討します。その他 *「定額給付金」 *「無保険の子どもに短期保険証を」について 質問しました。